



# コンソール3Dを使いこなそう 寝台除去

コンソールに標準で搭載されている3Dアプリケーションソフトにも、簡単に寝台や骨を除去する機能が付いています。

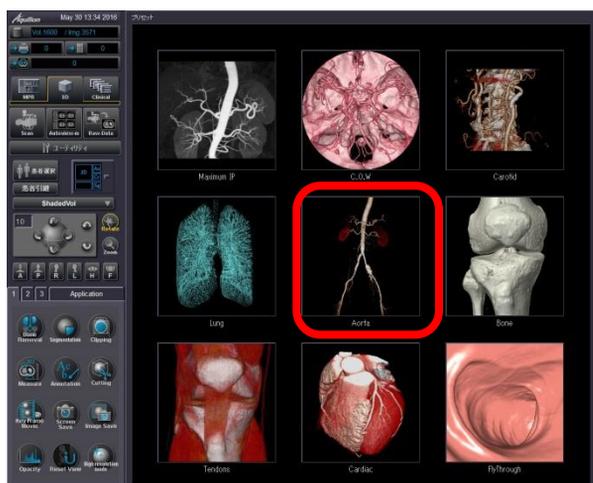
今回はその使い方をご紹介します。

## ■寝台の除去

その1. 画像読み込み後にOpacityを選択する画面で、真ん中の『Aorta』のアイコンをクリック。

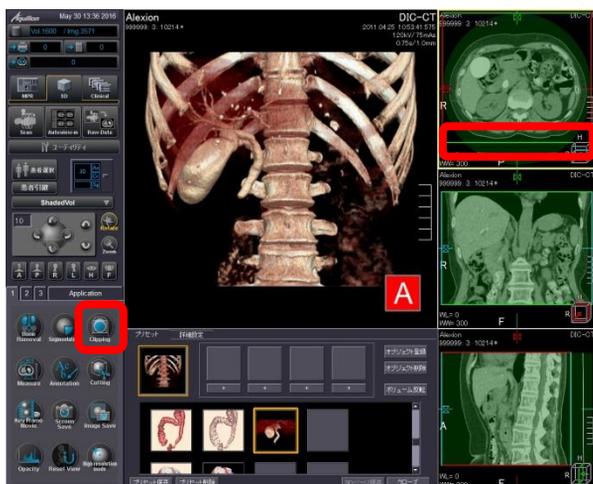
そうすると、自動で寝台が除去された状態で3Dが表示されます。

※この方法はソフトウェアのバージョンが**V4.93以降**のものでご使用いただけます。



皮膚より内側だけを自動抽出

その2. 『Clipping』を起動して範囲を狭める。



MPRに表示される三色の線の内側が3Dで表現される範囲です。

緑色の線を寝台より内側に狭めましょう。

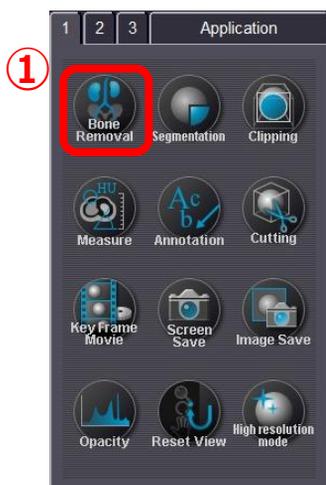
※上記はAquilionONE V7.0での画面で、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。  
ご使用の装置での操作に関しては東芝CTアプリケーション担当までお問い合わせください。



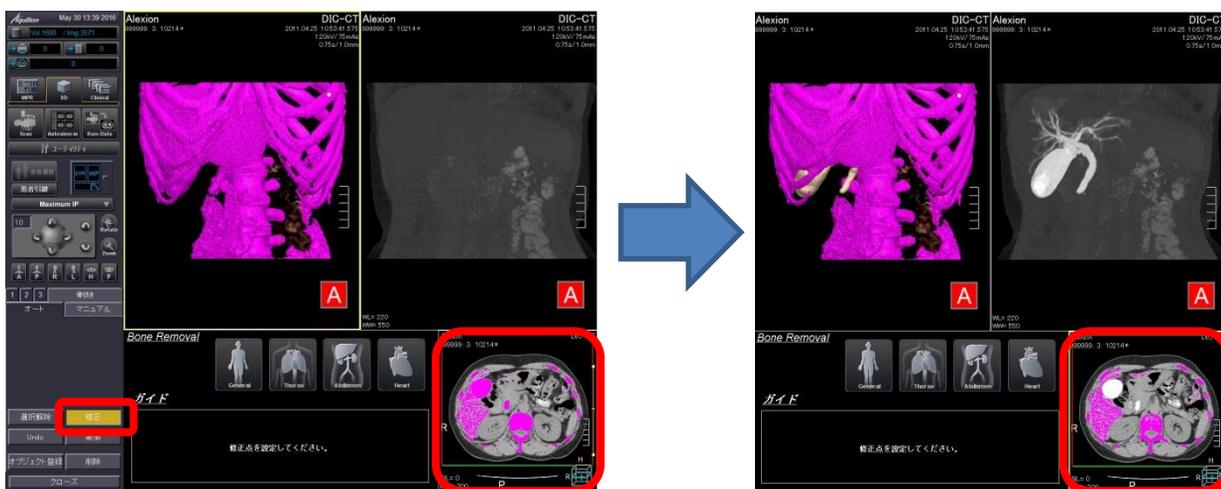
# コンソール3Dを使いこなそう 骨除去

## ■骨除去

- ①『Bone Removal』を起動
- ②処理する部位に合わせて、『General』『Thorax』『Abdomen』『Heart』を選択
- ③VR上（またはAxi）で紫色に変化した部分を『削除』で消します



※②のあとに、自動で選ばれなかった骨はVR上でクリックすると追加できます。  
また、余分に選ばれても（紫色になっても）『修正』を使ってVRかAxi上で余分な部分をクリックすると解除できます。



うまく分離できないときはVRのしきい値を変更してリトライしましょう！

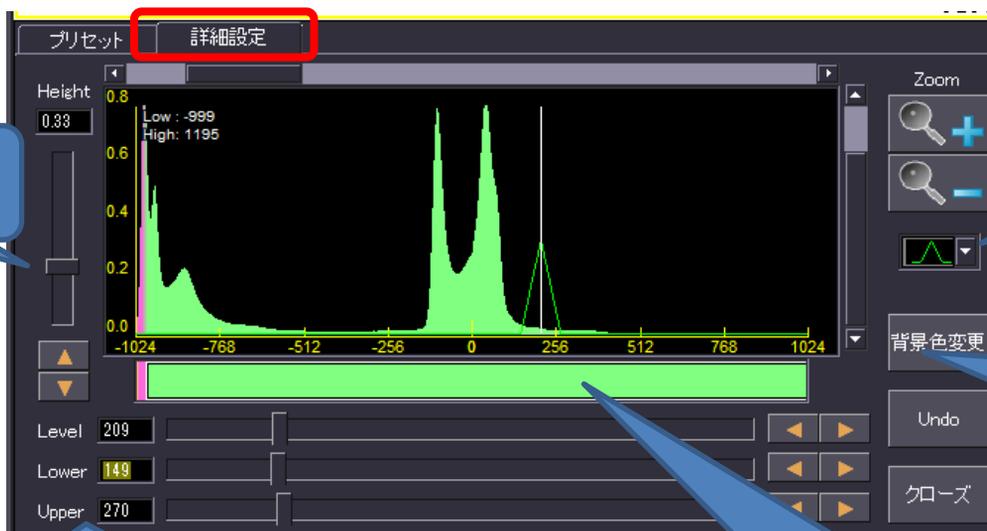
※上記はAquilionONE V7.0での画面で、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。  
ご使用の装置での操作に関しては東芝CTアプリケーション担当までお問い合わせください。



# コンソール3Dを使いこなそう DIC-CT

DIC-CTで胆嚢・胆管結石をVRで透かして描出する方法をご紹介します

- ①前ページの寝台除去・骨除去を行って胆嚢・胆管のみの表示にします。
- ②「詳細設定」を開き、カーブなどを以下のように調整します。



透過度は  
0.2~0.4  
くらい

カーブは  
山型を選択

背景色変更

背景色は  
白など明る  
い色を選択

Level・Lower・Upperを濃度に合わせて調整  
(困ったら以下の数値からスタートしてみましょう)  
Level : 210、Lower : 150、Upper : 270

カラーはこの部分を右クリックすると  
パレットが出ますので  
お好みの色で…

- ③最後にHigh resolution modeをクリックで完成！  
(透過したVRはHigh resolution modeがきれいに描出されます)

